

小学校 第3学年	A表現（2）イ B 鑑賞（1）		実践校 神戸町立神戸小学校 授業者 渡邊 友貴 実践時期 3学期 全8時間
題材名	いろいろうつして		

つながりを生かす

- 「もの」とのつながりについては、共通の素材を多数用意し、素材の使い方や版にした時の違いや効果に気付くようにする。
- 「ひと」とのつながりについては、鑑賞時に作品に込める仲間の思いを知ったり、自分とは違う表現方法に気付いたりすることで、今後の作品製作への意欲につながるようにする。
- 「ちから」とのつながりについては、素材の刷った後の模様を提示することで、テーマやイメージを考えたり、異なる素材を組み合わせ新たな発想が生まれたりするようにする。

題材の流れ

第1時 素材に触れる

教科書やキットの作品例を提示し、素材ごとに印刷後の模様について全体で交流し、表現内容や方法を考える。

- ・草シートが恐竜の背中に使えそうだな。
- ・毛糸が髪の毛にできそう。
- ・アルミホイルの模様がおもしろいな。

第2・3時 作品計画

多様な素材の印刷後の模様のイメージをふくらませ、スケッチをしながら作品計画を立てる。素材の配置についてもメモする。

ポイント1

- ・多様な模様の表現について気付けるよう、全9種類ある素材をできるだけ使うよう指導し、単体ではなく素材を重ねてみたイメージも説明した。

第4・5時 版作り

はさみ、ボンド（のり）を使用し、台紙に計画時のイメージを基に素材を貼る。作業前に教師の作品例を提示し、複数の素材を重ねる良さを伝える。

- ・この素材はイメージに合うかも。
- ・作品計画からここだけ変えようかな。

第6・7時 版画（インク、色付け）

インクをつけて刷る。インクをつけなかった部分は、絵の具かクレパスを選んで色づけする。

ポイント2

- ・刷る際に、ローラーに巻き込まれて部品がとれてしまう可能性もあるため、念入りに児童・教師・仲間の目で取れそうなどところがないか確認した。

第8時 鑑賞会

- ・仲間の作品紹介に耳を傾けながら、工夫をしたところや素材ごとの模様の良さを見つける。
- ・仲間の作品に込める思いを詳しく知り、作品の良さや自分の作品との違いを見つける。

ポイント3

- ・国語「これが私のお気に入り」の学習の中で、自分の版画の作品について「題名」「作品の説明」「紹介したい理由」を考え、仲間に紹介する文章を書いた。その際に、なぜこのテーマにしたのか、自分の工夫した点や、苦労した点、お気に入りの部分を改めて思い返しながら自分の作品に愛着をもたせた。

作品例



授業を終えて

国語で作品への詳しい紹介文を書くことができたため、今までの鑑賞会とは違い、仲間の作品に込めた思いから、「ここがそうだったなんて気付かなかった。すごい」という発見や感動の多い鑑賞会となった。

初めて版画をやってみて、とても小さいパーツを組み合わせた際にはうまく模様がでない、インクが薄くなるなどの今後の課題もあった。